

フィボナッチ数についてひまわりの花の説明が印象的だと思いました。ひまわりの花の作り方は外側から構成されると知っているのですが、ひまわりとは別に内側から花が構成される時、葉序即でのz軸方向の成長で咲くのですか？

やってないこと多かった。
高一向けか高二向けかはっきりしない。色々早い。定期的に情報整理して欲しい。でも、ワクワクする。ひまわりとか螺旋とか螺旋とか多すぎる。

もらった冊子資料にはスライドの詳細も載っていて、家でまた読むことができてよかった。

図解もあったおかげで、定理を理解することができてよかった。

ただ、まだ一年生なのでmodやなどはよくわからなかった。

全体的に面白かったので、またこのような講座を実施してほしい。

π の連分数展開したときの

$[3; 7, 15, 1, 292, 1, 1, \dots]$ と続く数列の研究をしてみたいと思った。

ひまわりとマーガレットの、また、実数の連分数展開の部分商などのフィボナッチパターンの螺旋の話は視覚的に理解できて面白かった。方程式の部分は話が早く理解が難しかった。

ひまわりの種の件について質問です。値を変化させていったときにできるひまわりの形は何をもってひまわりの形か否かを判断しているのですか？

先生が、説明をしてくれたものは、あの短い時間にもかかわらず、わかりやすく教えてくださり、数学の学習が十分に進んでいない僕でも大まかに理解をすることができました。ただ、やはり僕の理解力も足りずペル方程式の説明あたりから、やっていることはわかるけれど式を理解することが難しくなっていました。僕が一つ気になった部分かつ印象に残っているものはトポグラフの説明の部分で、どのようにトポグラフを用いてペル数の証明をしたのかという部分です。今回の先生の講義を通じて、僕は自分が今まで「数学」と思っていたものはどれだけ深いものなのかを知ることができました。とてもいい学びを得る機会をくださりありがとうございました。お菓子も美味しかったです。

高校1年高邑です。

先日はお忙しい中、
数学の講義をしていただきどうもありがとうございました。
ございました。

質問があります。

$f(p/q)$ が黄金比の最良近似分数と言われる経緯は何でしょうか。

その他の近似分数はどういったものがありますか。